

Title	大企業におけるリスクマネジメント-企業実態調査を中心とした考察-
Sub Title	
Author	中川順二(Nakagawa, Jiyunji) 青井倫一
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1997
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1997年度経営学 第1361号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001997-1361">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001997-1361</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

No. 1361

学生氏名

中川 順二  
(東京電力株式会社)

主査 青井 倫一  
副査 大林 厚臣  
中村 洋

所属

青井 倫一 研究室

## 大企業におけるリスクマネジメント —企業実態調査を中心とした考察—

科学・技術の高度化や社会・経済制度の複雑化に加え、企業の規模や活動範囲の拡大により、企業が対処しなければならないリスクは巨大化、多様化してきている。このような実態を踏まえ、大企業においては巨大リスクへの対処とともに、リスクマネジメントの効率性が要求されている。そこで、本研究においては、大規模設備を所有する日本の大企業におけるリスクマネジメントの取り組みの実態を明らかにしたうえで、全社的リスクマネジメントの必要性を考察し、効率性向上に向けた対応策について提言する。特に日本企業における特徴的な損害保険管理を中心に議論を展開する。

まず、リスクマネジメントの目的、組織対応、技能、損害保険の理論研究から、全社的リスクマネジメントの取り組みの必要性を考察した。次に、資本金100億円以上の一部上場の製造業、電力・ガス、通信事業385社を対象にリスクマネジメントおよび損害保険にかかわるアンケート調査を実施し、82社から回答を得た。その結果、リスクマネジメント部門や担当者の設置が進んでおらず、リスクマネジメントの評価などの取り組みや技能に問題をかかえていることが明らかとなった。また、損害保険管理は総務、経理部門においてリスクマネジメントとは別個に管理され、物的保険を中心に皆保険の傾向がうかがわれる。コストダウンの要請や損害保険の規制緩和を反映して保険料低減についての意識は強いものの、リスクの保有も含めた効率性の検討はされていない。

このような企業の取り組みや技能の実態と、日本の大企業の特徴を踏まえ、リスクマネジメントの効率性に向けた組織対応、意思決定システムの提言を行うものである。